



# 令和の里海づくりの取組について

環境省 水・大気環境局 環境創造室

室長 森川 政人



令和の  
里海づくり

SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT  
GOALS

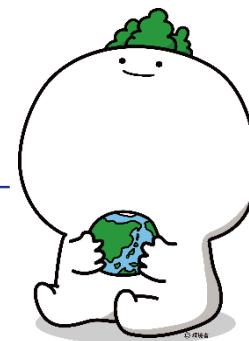
Re-Style  
限りある資源を未来につなぐ。  
今、彼らにできること。

デコ活  
くらしの中のエコロがけ

つなげよう。  
支えよう。  
森里川海

Plastics  
Smart

「ネイチャーポジティブ」イメージキャラクター  
**だいだらポジー**  
DAIDARAPOSIE

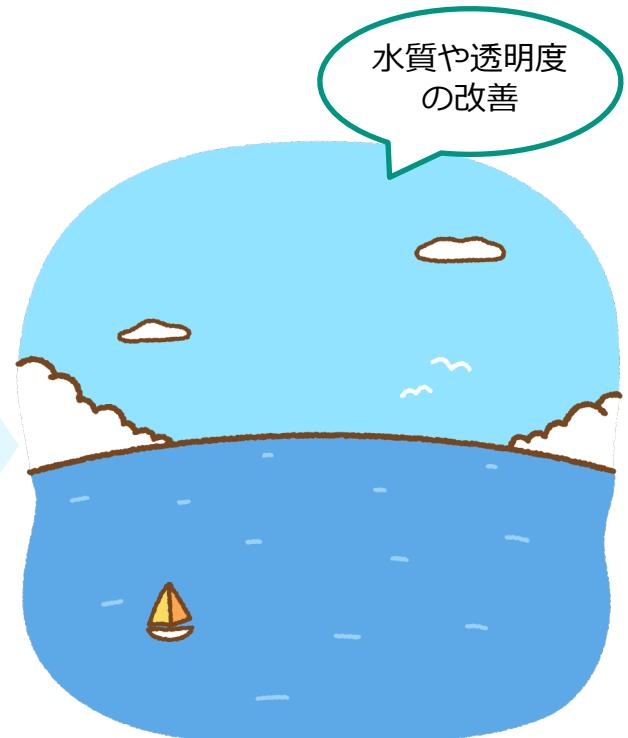


# 閉鎖性海域の環境問題の変遷

かつては死の海と言われたが…



汚濁負荷は半分以下に



水濁法の制定

総量規制の導入

規制項目の拡充

- しかし、水産資源はいまだ回復せず…
- 気候変動といった新たな課題も！

# 今後の里海づくりのあり方に関する提言（概要版）

(2025年3月 今後の里海づくりのあり方検討会)

＜里海を取り巻く経緯と課題＞ ※里海：人手が加わることにより生物生産性と生物多様性が高くなった沿岸海域

- ◆ 高度経済成長期に、開発による**自然環境の劣化や消失、汚濁負荷の増大、水質の悪化**
- ◆ 水質保全を目的とした**排水規制等の施策**による水質の改善を経て**豊かな海（里海）**づくりへ
- ◆ 令和4年度から**令和の里海づくりモデル事業**により、現状の把握や課題、事例の収集と地域支援を実施
- ◆ 社会構造や価値観の変化、気候変動、場の消失等を踏まえた複数施策への**統合的アプローチ**の必要性

これらの状況を踏まえ**環境省**が取り組むべき「今後の里海づくりのあり方」を検討

## 環境省が目指すべき「里海づくり」の理念と指針

- 1) 良好な海域環境の**保全・再生・創出**
- 2) 地域資源の適切な**利活用**による**保全と好循環の形成**
- 3) 地域の歴史、伝統、文化等や自主性を重んじた**多様な主体の参加と連携**

### 提言1：良好な里海の保全・再生・創出

- ・ 良好的な海洋環境の「保全」、劣化した場の「再生」、失われた場の「創出」
- ・ 森里川海の連環
- ・ 科学技術的、社会経済的にも実現可能かつ具体的、定量的な目標設定
- ・ 自然の変動やかく乱を受けても自律的に回復、存続できる
- ・ 海域環境や生態学に関する調査とモニタリング、アセスメントによる評価と順応的管理
- ・ 沿岸域の地域づくりの一環として取り組む
- ・ ウエルビーイング/高い生活の質にも貢献
- ・ 研究分野の進展と成果の実装

### 提言2：里海における資源の利活用と好循環の形成

- ・ 一般の市民が日々の生活のなかで里海づくりに触れ、参加できる機会を通じた生活での利活用
- ・ 地域や国内外を問わずレクリエーション、アクティビティ等の観光での利活用
- ・ 地域の歴史や伝統文化に配慮した農林漁業での利活用
- ・ 海洋リテラシーの充実をはかる海洋教育の実践を通じた海洋教育での利活用

### 提言3：地域の自主性を重んじた多様な主体の参加と連携

- ・ 多様な主体者との連携のためのネットワークの構築と支援
- ・ 関係省庁、関係団体とのシナジー発揮、連携の強化

モデル構築による地域の取組支援のみでなく、科学的知見の充実、情報共有の場づくりなどを通じて、戦略的に「**令和の里海づくり**」を推進

# 令和7年度戦略的「令和の里海づくり」基盤構築支援事業

- 「藻場・干潟の保全・再生・創出」と「地域資源の利活用による好循環」、さらに「多様な主体者との連携」を実行する「令和の里海づくり」を実現するための支援事業を実施。



# 藻場・干潟の保全・再生の評価の手引き書



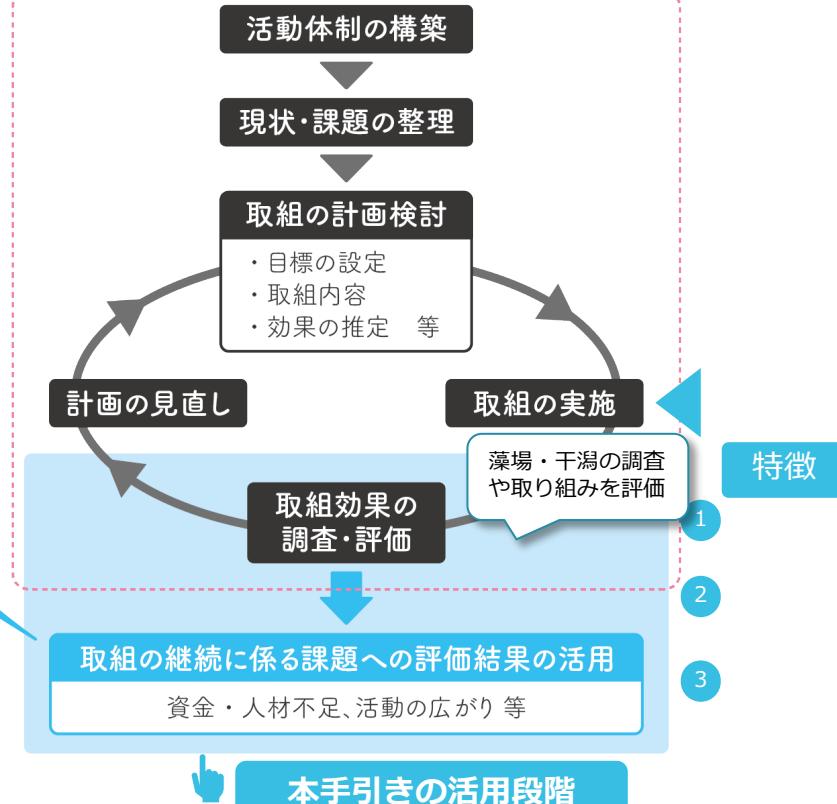
- 里海づくりの一環として藻場・干潟の保全や再生等に取り組む際の課題となる、ブルーカーボンをはじめとした調査手法・評価手法や活用方法、効果を提示。
  - 取組成果を見える化することを目的として、手引書としてコンパクトに整理。



- 里海づくりの取組で直面する課題の解決に活用するという観点で調査・評価の方法を整理
  - モデル海域の実施例の踏まえ、調査項目の選び方や方法等の技術的なポイントを、取組実施者の視点から整理
  - 他の専門的な参考資料へと繋がる資料として整理し、コンパクトで読みやすく工夫

## 本手引きの活用方法レベル

## 【里海づくりの進め方】





# 里海づくりの現場における民間協業事例



- 「令和の里海づくり」事業がきっかけとなって**民間企業との新たな連携・協業**が生まれ、活動資金の獲得や事業拡大に繋がる好事例が増えている。
- 実施団体がパートナーシップを拡大し、**地域づくりのコーディネーター**として**里海**という**地域資源**を活用した**地域活性化**を実現している。

## R6実施団体：株式会社WMI（北海道函館市）

- ・造成したコンブをヘアケア用品やコンビニ商品に使用  
⇒サステナブルブランドとしての発信
- ・地域関係者と大阪・関西万博でイベント開催  
⇒里海事業実施による信頼獲得
- ・生分解性粘土を用いた**海洋教育**の展開  
⇒地域のコーディネーターとして活躍



サラヤの商品に活用

海洋教育活動



セブンイレブンの商品に活用



万博での発信

## R5実施団体：新庄漁業協同組合（和歌山県田辺市）

- ・取組価値を認められ、**民間企業の支援獲得**  
⇒環境保全活動の価値発信の成果
- ・保全活動の**エコツア化**による**資金獲得**  
⇒売上的一部分を保全活動へ
- ・**生物多様性保全の価値の視覚化**  
⇒自然共生サイトの認定に加え、**ブルークレジットの発行**へ



トヨフジ海運からの支援獲得



ヒロメ養殖の拡大と藻場造成



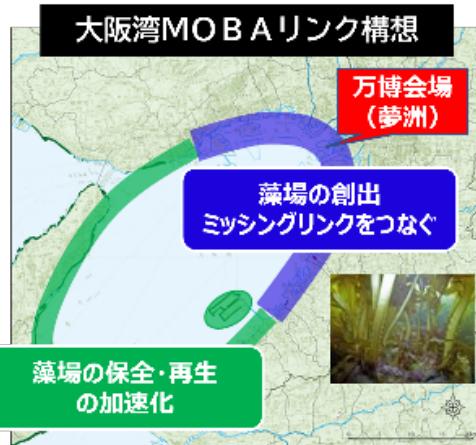
保全活動の体験ツアー



自然共生サイト認定

# 里海づくりの現場における民間協業事例

- 大阪湾では、大阪府が掲げる「大阪湾MOBAリンク構想」に基づき、埋立てや水質汚濁等により消失した大阪湾奥のアマモ場の復活に向けたプロジェクトを「令和の里海づくり」で支援。
- 産官学民といった多様な関係者が参画し事業を実施。



## R4

### R4

- ・(株)ENEOSが主体となり、大阪府と連携して、藻類着床を目指した取組を実施
- ⇒周辺の消波ブロックに見られなかったアオサやシオミドロ（褐藻類）など何種類かの新しい海藻も確認。



## R5

- ・海遊館とも連携し、**学芸員が主体**となり生物生息空間の設置や、海洋教育を試行。
- ⇒住民への普及啓発や中高生への巻き込み



生物生息空間創出

潮だまりの造成

ワークショップ

## R6

- ・大阪湾奥で**里海づくり（耕耘作業、生物調査、生物生息空間創出等）**を実施。
- ⇒住民も巻き込み認知度を向上させつつ、生態系も再生



里海づくり活動

都市部での普及啓発

体験機会の創出

# 里海づくりの推進に向けた関係団体等との連携強化

- 里海づくりと親和性の高い取組を実施している、**民間企業等との連携協定を締結**することにより、双方の事業でのシナジー効果を期待。
- 調査、情報発信、経験知の共有、認知度の向上等の取組を連携して実施し、**地域の取組の更なる展開と幅広いターゲット層へのアプローチ**が実現。

(公財)国際エメックスセンター(令和6年5月)



滝沢環境副大臣 服部兵庫県副知事

## みんなの里海づくり支援事業の実施

※協定に基づきエメックス独自の支援事業を立ち上げ

- ・活動支援 (17件)
- ・研究支援 (8件)

### 【協定名称】

里海づくりの推進に関する協定

### 【内容】

- ・里海づくり施策の推進に資する調査、技術的助言、催事の開催、情報発信、関係団体とのネットワークの構築
- ・調査研究、研修の実施及び活動に関する支援、国際的かつ学際的な交流推進

パタゴニア・インターナショナル・インク(令和7年7月)

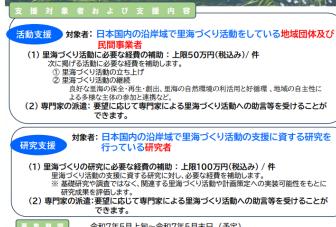


マーティ・ポンフリー日本支社長 浅尾環境大臣

## Ridge to Reef プロジェクト

※流域視点で沿岸生態系の再生を支援（「令和の里海づくり」モデル事業実施地域も対象）

- ・活動支援 (17件)



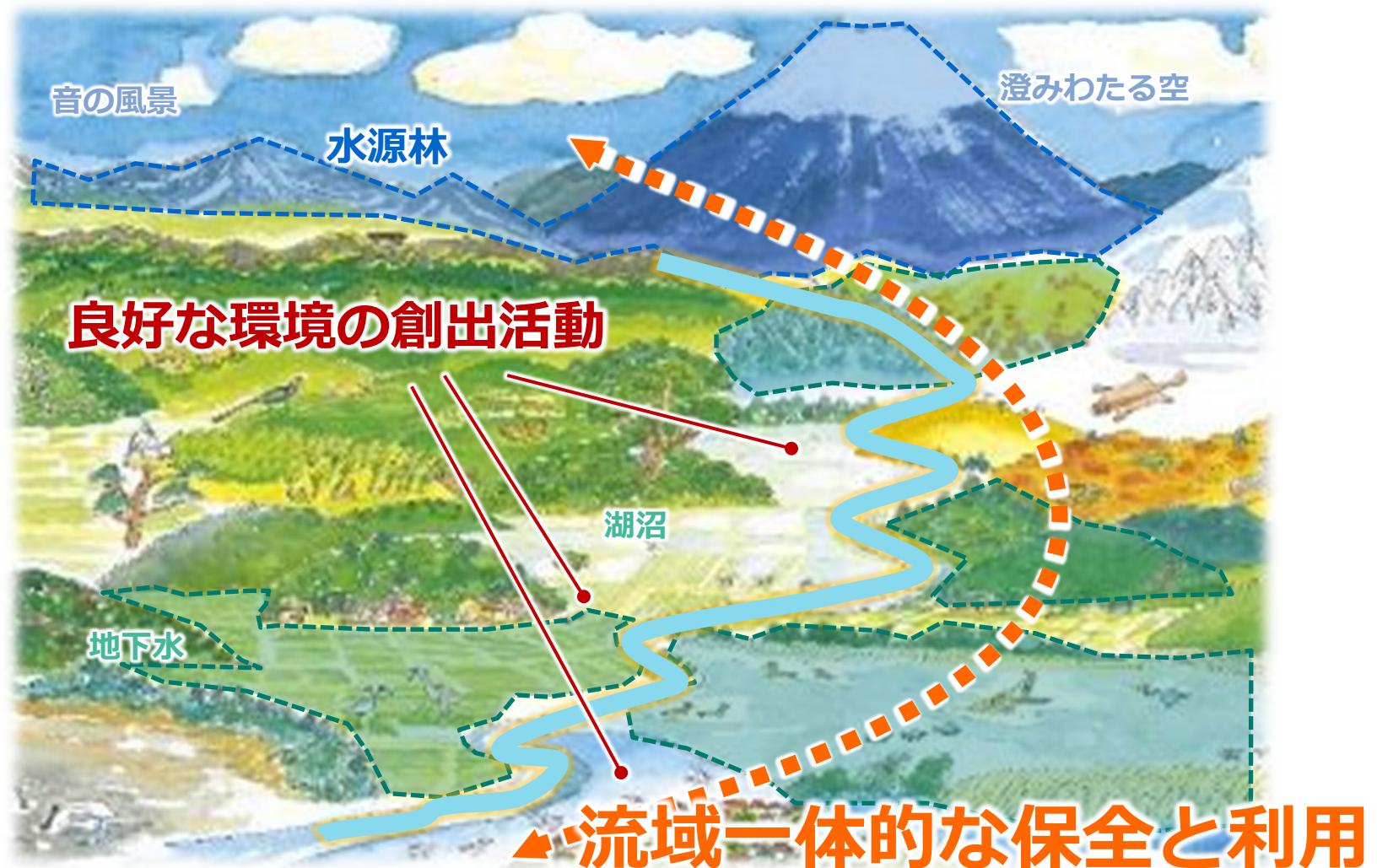
### 【協定名称】

流域の視点からの沿岸生態系の再生を通じた里海づくりの推進に関する協定

### 【内容】

- ・双方が支援する地域事業間の連携や情報及び経験の共有
- ・双方が支援する地域事業から得られた知見及び経験等の総括及び活用
- ・取組の重要性や認知度の向上

# 良好な環境の創出の推進



# 良好な環境の創出に向けた取組の全体像（現状）



- 地域においては、良好な環境の保全・再生・創出に向けた取組が盛んになってきているものの、「**その価値が地域内外で十分に認識されていない**」、「**高齢化等により、維持・保全に従事する人材が不足**」、「**自立的に保全・再生・創出を行うための資金が不足**」といったことが課題となり、**持続可能な取組が多くない**。
- そのような課題を解決し、**持続可能な取組が増えるよう**、以下を実施し、地域を支援。

## 地域の取組支援

モデル事業の実施

## 情報共有・発信・連携・マッチング

プラットフォームの運営

### 情報発信

SNSの運営

### 連携・マッチング

シンポジウム開催

### 科学的知見蓄積

研究推進

# 令和7年度のモデル事業

## ■令和6年度

良好な環境創出活動推進  
モデル事業

「令和の里海づくり」  
モデル事業

## ■令和7年度から

淡水エリアにおける  
保全と利活用

沿岸エリア(里海)における  
保全と利活用

良好な環境を生かした  
インバウンド観光地域づくり

良好な水環境保全・活用  
モデル事業

戦略的「令和の里海づくり」  
基盤構築支援事業

良好な環境を活用した  
観光モデル事業

保全・活用

活用

国民のウェルビーイングや地域の魅力度・活力を向上させる  
望ましい水環境・水循環等を実現

# 水辺の環境活動プラットフォームやSNSの運営



## 水辺の環境活動プラットフォーム



● 情報収集・情報交流

● つながり促進

● 地域の水環境保全・活用の取組を閲覧可

行政・企業・各種団体・個人等、計486者が参加  
(2026年1月14日現在)

★★会員登録はこちらから



ぜひご参画&多くのいいね・フォローを  
お願いいたします!!

## 環境創造室公式アカウント 「良好な環境」推進チーム【環境省公式】

### Facebook



良好な環境推進チーム／環境省  
4日 ·

今さら感ありますが・・・  
「良好な環境」推進チーム！SNSデビューしました♪

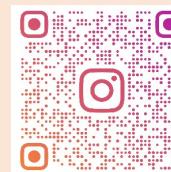
良好な環境に関することや環境創造室が取り組んでいる業務などについて、職員自らが現場の声を交えて発信していきます♪

目標は・・・年度内にフォロワー1000人！

環境だけではなく、フォローや「良好」にしたいので、ぜひフォローお願いします♪

#環境創造室 #良好な環境 #環境省 #SNSデビュー #良好環境 #SNS開設 #良好な環境推進チーム

### Instagram



ちよつと前からSNSを始めました♪

「良好な環境」推進チーム  
です！

### X



良好な環境に関することや環境創造室が取り組んでいる業務などについて、職員自らが現場の声を交えて発信していきます♪

# 令和8年度の方向性について（モデル事業）

## 令和7年度

実施中

淡水エリアにおける  
保全と利活用

良好な水環境保全・活用  
モデル事業

2年事業

沿岸エリア（里海）における  
保全と利活用

戦略的「令和の里海づくり」  
基盤構築支援事業

3年事業

良好な環境を生かした  
インバウンド観光地域づくり  
(陸・海問わず)

良好な環境を活用した  
観光モデル事業

2年事業

## 令和8年度

R7から継続

良好な水環境保全・活用  
モデル事業

戦略的「令和の里海づくり」  
基盤構築支援事業

良好な環境を活用した  
観光モデル事業

環境本省にて引き続き実  
施。1/15追加公募開始。

※令和8年度の政府予算の成立が前提

淡水～沿岸エリア（里海）における保全と利活用

地域支援事業（仮称）

新規

各地方環境事務所にて  
実施予定。

# ①今後の予定：環境本省事業

- ・ 1月15日 公募開始 済  
〆切：**2/13**（水・里海）、**2月末**（観光）
- ・ 1月20日 公募説明会 済

＜スケジュールイメージ＞

	2025 年 12月	2026 年 1月	2026 年 2月	2026 年 3月	2026 年 4月	2026 年 5月	2026 年 6月	～	2027 年 2月	2027 年 3月
<b>公募</b>			説明会 公募期間							
<b>審査</b>				審査(検討会含む)		通知				
<b>事業実施</b>					再委託契約、初回打合せ、事業実施					

※その他、成果発表会、シンポ、フォーラム、研修会等も計画中

**環境省報道発表**のご確認をお願いいたします！

## ②今後の予定：地方環境事務所事業

- 1月 **下旬以降** 公募開始 **【地方環境事務所毎】**

**地域支援事業**（仮称）

＜スケジュールイメージ＞

	2025 年 12月	2026 年 1月	2026 年 2月	2026 年 3月	2026 年 4月	2026 年 5月	2026 年 6月	～	2027 年 2月	2027 年 3月
<b>公募</b>			公募期間							
<b>審査</b>				審査(検討会含む)						
					通知					
<b>事業実施</b>					再委託契約、初回打合せ、事業実施					

※その他、成果発表会等も計画中

**環境省報道発表**のご確認をお願いいたします！

# 令和8年度の方向性について（プラットフォーム等）



## 令和7年度

水辺の環境活動プラットフォーム

SNSの運用・発信

行政・企業・各種団体・個人等、**計486**者が参加  
(2026年1月14日現在)

・Facebook、Instagram、Xの運用を開始

## 令和8年度

拡充・強化

新規

水辺の環境活動プラットフォーム

SNSの運用・発信

・定期的な情報共有の場を新規運営  
・里海づくりのネットワークを強化

・新たな企画を検討

十 **制度化**に向けた検討

・中環審での議論を  
R7.12.25から開始

ブルーカーボン ネイチャーポジティブ…

# 里海づくりネットワークを設置

※一般社団法人ブルー・オーシャン・イニシアティブ（BOI）と共同運営

2026/1/30 里海づくりシンポジウム開催

「里海づくりシンポジウム」  
で検索！ 

# 関連イベント



■ 良好な水環境や里海づくりに携わる関係者の共創の場として、12月22日に都内で「良好な環境創出シンポジウム2025」を開催、1月30日に大阪で「里海づくりシンポジウム」を開催予定。

令和7年度 里海づくりシンポジウム  
未来へつなぐ里海の知と実践

本企画は、環境省が推進する「令和の里海づくり」基盤構築支援事業の途中成果と、S-23 環境研究総合推進費による科学的知見を融合し、地域実践と研究成果の相乗効果を図ることを目的とします。さらに、一般市民や若手研究者、自治体関係者との対話を通じて、持続可能な里海づくりの未来像を共創します。

日時 2026年 1月30日(金) 13:00-18:00

会場 オンライン配信あり  
難波御堂筋ホール ホール7  
大阪市中央区難波 4-2-1 難波御堂筋ビルディング

最新情報  
はホームページで随時公開!  
QRコード  
水辺の環境活動  
プラットフォーム  
S-23  
プロジェクト

プログラム  
開会挨拶 「令和の里海づくり」のビジョンと今後の展開  
事例紹介 戰略的「令和の里海づくり」基盤構築支援事業  
企業の取組  
環境研究総合推進費 S-23 プロジェクトの研究紹介  
クロストークセッション「科学と実践の融合による里海づくり」  
令和の里海づくりポスター・デザインコンペティション表彰式  
閉会挨拶  
会場のみ ポスター・セッション

会場  
定員 120名  
1月26日正午まで  
QRコード

お問い合わせ  
里海づくりシンポジウム事務局  
公益財団法人国際エマックスセンター シンポジウム担当  
satoumi@emeecs.or.jp

参加申込  
参加無料  
QRコード

オンライン  
定員 500名  
1月30日正午まで  
QRコード

共催 環境省 水・大気環境局 海洋環境課 海域環境管理室  
環境研究総合推進費 S-23 プロジェクト・国立環境研究所  
協力 一般社団法人 Blue Ocean Initiative



## [参加申込フォーム]

里海づくりシンポ  
(会場)



里海づくりシンポ  
(オンライン)



# ブルーカーボン ⇒ 観光事業への展開

## 岡山県広域 里山・里海 学習体験型コミュニティプロジェクト OKAYAMA SATOYAMA-SATOUMI UNIVERSITYプロジェクト

Google earth



真庭市/里山里海交流館 しんぴょく/鍾乳洞や滝から流れ出る水が海までつながり  
健康な森や川の維持活動と源流域の古代からの共生を学び体験する

里山の営みが豊かな里海を作っている。水のつながりと  
各エリアの保全活動を一気通貫で 学ぶ/楽しむ/仲間を作る



笠岡市  
かさおか島ラボ  
海洋牧場で多様な生物が生きる  
瀬戸内海を維持する  
活動を学び体験する

● 里山/真庭市北房

● 里海/備前市日生

里海/笠岡市白石島

備前市 ひなせうみラボ アマモ (魚たちのゆりかご)  
の再生の成果を学び活動に参加する



# 規制行政からの転換：地域の関係者による里海づくり

漁業者をはじめとする関係者との協働による里海づくり

保全と利用の両立

目指す姿は  
地域が決定

環境問題と経済・社会  
課題との同時解決

環境部局

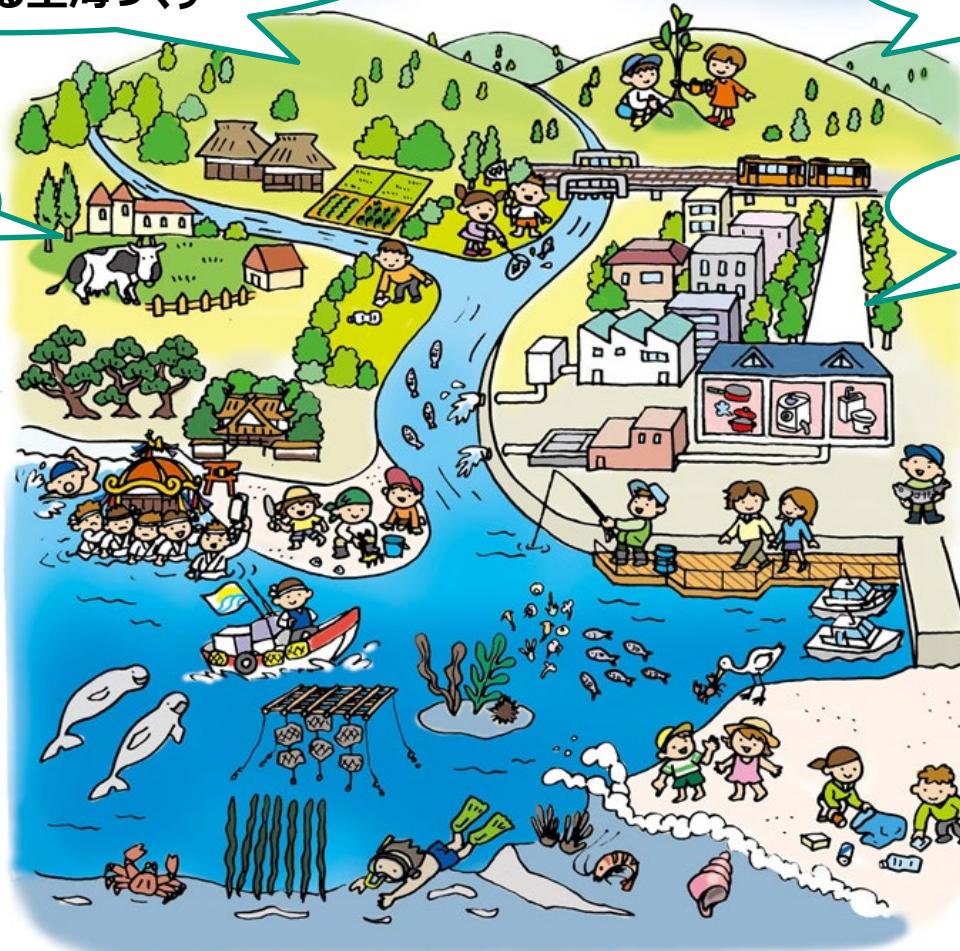
市民

漁業関係者

地元企業

観光関係者

教育関係者



ニーズ（時代の要請）に対応した、健康で心豊かな暮らしの実現へ